

中学部 第3学年 家庭科学習指導案

大阪府立生野支援学校
T1: 首席 豊島 秀多
T2: 指導栄養教諭 寺中 純子

1. 日 時 令和3年9月15日(水) 第4時限 10:25~11:05
2. 場 所 B棟1階 調理室
3. 学年・組 中学部第3学年 C1班 7名 (小学部第3学年12名)
4. 単元名 「給食室のお手伝いをしよう」
5. 単元の目標
 - ・とうもろこしの皮のむきのコツを知り、給食室のお手伝いができる。(A)
 - ・給食準備の大変さやお手伝いの意義を考え、友だちと助け合うことができる。(B)
 - ・頼りにされていることに役割意識を持ち、積極的に活動へ参加することができる。(C)
6. 食育の視点
【感謝の心】給食準備の大変さに気づき、調理員さんへの感謝の心を持つことができる。
7. 教材観
本単元では給食室のお手伝いを通して、給食準備の大変さやお手伝いをするものの意義を理解することができるように設定する。また子どもたちの参加意欲を高め、主体性を引き出すために、異学年交流をしながらの活動とする。単元を「事前学習」「体験活動」「校内放送」の3つで構成することで、中学部生徒が小学部児童へ教えるための「知識・技能の獲得」、体験を通しての「思考・判断・表現活動の充実」、単元全体の活動や校内放送を活用した発表を通して「主体的に学習に取り組む態度の育成」を図ることを設定する。本単元ではとうもろこしの皮むきのコツを次のように設定する。「①ヒゲと一緒に皮をむく」「②軸付近までむき下ろしたら軸を折る」「③残った細かいヒゲを取り除く」このように生徒が小学部の児童へ教えるポイントを整理しやすいよう学習を展開する。
8. 生徒観
本校では2年前より「給食室のお手伝い」の学習に取り組んでいる。毎年対象グループを変更しながら実施しており、本学習の経験の有無は生徒によって異なる。経験のある生徒についてはお手伝いの内容から給食室の仕事についてある程度の知識がある。より多くの生徒に対して理解を図る点、一定の知識のある生徒に対してより理解を深める点、本学習が限定的なものではなく日常生活の営みに繋げる点などに課題がある。
9. 指導観
本単元では異学年交流の利点を活かし、生徒が教える活動を通して主体的に活動へ参加することで、食事の準備に関する知識を深めること、食への感謝の気持ちを育むことをねらいとする。そのための手段として本単元では、生徒が役割意識をしっかりと持つことができるよう留意しながら授業を展開する。友だちと助け合うことの必要性や、自分たちが頼りにされていることを実感できる発問を行い、学習への参加意欲を高めることのできるよう意識的に指導する。食事準備の大変さを実感するための工夫としては、本校で作られている給食の食数を伝えたり、使用するとうもろこしの量がとても多いことを体感できるように一か所に集めて生徒へ示したりする。また校内放送という発表の場を設けて、生徒が達成感や充実感を体感できるよう指導するとともに、校内の他の児童生徒が活動を知り、興味を抱くことができるよう仕掛ける。

10. 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①とうもろこしの皮むきの方法が説明できたか。 ②皮むきのコツを理解し、お手伝いの活動ができたか。	①給食準備の大変さに気付き、自身の役割を考えたか。 ②小学部の友だちに教えながらお手伝いの活動ができたか。	①自身が果たす役割に気付き、積極的に活動へことができたか。 ②活動を振り返り、自分の感想を発表することや友だちの感想を聞くことができたか。

11. 単元の指導と評価の計画（全3時間）

時	学習内容・学習活動	主な評価規準
第1時	【事前学習】 ・とうもろこしの皮むきの方法を学習し、練習する。 ・皮むきのコツを説明できるように練習する。 ・体験活動での役割分担を行い、あらかじめ確認する。	A①、B①
第2時 (本時)	【体験活動】 ・給食準備について教員からの説明を聞く。 ・皮むきのコツを小学部の児童へ説明する。 ・小学部の児童に教えながらお手伝いの活動をする。 ・授業の準備や片づけを手伝う。	B②、C① 小学部児童はA②
第3時	【校内放送】 ・体験活動の振り返りを行い、感想文を書く。 ・校内放送で感想を発表する。(代表者のみ)	C②

12. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・友だちと助け合いながら給食室のお手伝いができる。(B)
- ・与えられた役割を自覚し、積極的に活動へ参加する。(C)

(2) 本時の評価規準

- ・友だちと協力して役割を分担し、お手伝いの活動ができたか。(B②)
- ・小学部の友だちに教える役割を自覚し、積極的に活動へ参加できたか。(C①)

(3) 本時の準備物

とうもろこし、新聞、ゴミ袋、消毒液、写真カード 等

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点		評価規準 (評価方法)
		T 1 (首席)	T 2 (指導栄養教諭)	
5分 導入	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 本時のめあてを知る。 本時で扱う食材を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食準備についてT 2へ質問を投げかけながら共同解説し、本時のめあてを伝える。 給食準備の大変さを伝えながら「みなさんの力を貸してほしい」と発問し、児童生徒が活動への参加意欲を高められるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> T 1の質問に応じながら給食室の仕事について具体的な解説をする。 一カ所に集めた食材を提示し、扱う食材の量の多さとお手伝いの必要性を伝える。 	
30分 展開	<ul style="list-style-type: none"> 小学部の児童に手本を示しながらとうもろこしの皮むきの方法を説明する。 小学部の児童と一緒にお手伝いの活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学部生徒の説明の良い点を褒めると同時に小学部児童へも頼りにしていることを伝え、児童生徒の主体性を引き出す発問をする。 児童生徒の主体的な活動を促せるよう個々に必要な具体的な行動を端的な言葉で助言する。 振り返りで再確認すべき児童生徒の好ましい行動について把握できるよう留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて説明の補足や作業の手本を示し再確認する。 必要に応じて個々に皮むきの方法を再確認したり、個々に必要な具体的な行動を端的な言葉で助言したりする。 	<p>中学部生徒 B②、C① (行動観察・発表)</p> <p>小学部児童 A② (行動観察)</p>
5分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の感想を聞き出すよう働きかけ、良かった点を再確認できるよう発問する。 	<ul style="list-style-type: none"> お手伝いの活動があったおかげで助かったという感謝の気持ちを伝え、児童生徒の自尊心を高めるように話す。 	